

# 共同研究成果報告書

作成日 平成22年 5月12日

研究課題名	日本古典籍特定コレクションの目録化の研究					
所属研究部局 ・職名	文学資源研究系	ふりがな	すずき じゅん			
	・教授	研究代表者氏名	鈴木 淳			
研究形態	1. 基幹研究 2. 共同研究 (3.) プロジェクト研究 4. その他 ( )					
研究の位置づけ	(1.) 中期目標・中期計画に記載 2. その他 ( )					
研究期間	平成16年度～平成21年度 6年計画の第6年次					
研究経費	年度	研究経費	経費内訳 (単位:円)			
			物品費	旅費	謝金等	その他
	平成16年度	1,397,662	900,352	116,360	380,950	0
	平成17年度	2,565,908	2,178,748	54,960	319,200	13,000
	平成18年度	4,481,663	4,460,233	7,350	13,300	780
	平成19年度	742,041	249,396	151,950	332,500	8,195
	平成20年度	1,091,648	350,000	207,240	0	534,408
	平成21年度	3,179,754	3,036,028	107,430	20,000	16,296
総計	13,458,676	11,174,757	645,290	1,065,950	572,679	

研究組織				
氏名	所属機関・部局・職名	現在の専門	役割分担	エフォート (%)
(研究代表者)				
鈴木 淳	文学資源研究系・教授	近世文芸	総括	20
(研究分担者)				
井田 太郎	文学形成研究系・助教	近世文芸・美術	やまと絵系	5
岡本 聡	中部大学・人文学部・准教授	近世文芸	古典類挿絵	5
浅野 秀剛	大和文華館館長	近世美術	浮世絵系	5
岩切 友里子	国際浮世絵学会	近世美術	浮世絵系	5
岩佐 伸一	大阪歴史博物館・学芸員	近世美術	画譜類	5
神楽岡 幼子	愛媛大学・法文学部・准教授	近世演劇	上方絵本類	5
神作 研一	金城学院大学・文学部・教授	近世文芸	やまと絵系	5
キャンベル、ロバート	東京大学・大学院総合文化研究科・教授	近世近代文芸	漢画系	5
小林 ふみ子	法政大学・キャリアデザイン学部・准教授	近世文芸	狂歌絵本類	5
佐々木 孝浩	慶應義塾大学・附属研究所斯道文庫・准教授		(平成16～17年度参加)	
佐藤 悟	実践女子大学・文学部・教授	近世文芸	浮世絵系	5
檜山 裕子	青山学院高等部・国語科・非常勤講師	近世文芸	草双紙類	5
伊藤 善隆	湘北短期大学・総合ビジネス学科・准教授	近世文芸	俳諧絵本系	5
深谷 大	早稲田大学・演劇博物館・客員研究員	近世演劇	風俗画	5
松方 冬子	東京大学・史料編纂所・准教授		(平成16～17年度参加)	
(研究協力者)				
ティニオス、エリス	リーズ大学・名誉講師	近世美術	漢画系	5
マルケ、クリストフ	フランス国立東洋言語文化研究学院・教授	近世美術	在外近世絵画	5
(研究補助者)				
佐々木 比佐子	文学資源研究系・リサーチアシスタント			
合計19名				

## 【概要（背景と目的）】

- ・「背景」と「目的」は、概要の中に入れて記入している場合は、特立して記す必要はありません。
- ・半頁以上、1頁以内で記入して下さい。
- ・【全体の研究成果】等他の記入欄と同内容のことを書かざるを得ない場合でも、他の記入欄と数行にわたって同一内容（成果出版物の目次を記す等）になるような記入はしないで下さい。

本研究は、国内外に存在する特定の書籍コレクションの原本調査及びその書誌データの分析に基づいた書誌的研究や目録化の研究を行うものとして企画されたものである。対象となるコレクションとしては、国文学研究資料館の田安德川家寄託資料とドイツ国ケルンのゲルハルト・プルヴェラー氏蔵日本絵本コレクション（現、米国スミソニアン協会フリーア美術館蔵）の二つで、次の三つの課題を立てて出発した。

- 1、日本古典籍分類表の作成
- 2、田安德川家蔵古典籍書誌目録の作成
- 3、プルヴェラー蔵日本絵本コレクションの書誌データの整理

1の「日本古典籍分類表の作成」は、学術情報の組織的な収集と提供という観点から、「古典籍目録総合データベース」事業との連携を意識して、古典籍の分類目録化、また件名による検索のために構想されたものであった。具体的には、日本文学から始めて、徐々に全体に及ぼすという方法で、専門研究者の意見を徴しつつ、日本古典籍分類表の作成を進めた。その結果、日本古典籍分類表の完成に向けた道筋がほぼ固まったが、最終的には、本研究の研究性をもっと高める必要から、本課題については、科研（基盤研究A、代表鈴木）の方で、より実践的な形で引き継いでいくことになった。

2の「田安德川家蔵古典籍書誌目録の作成」については、本研究開始以前の書誌調査の蓄積の上に、目録化を図り、編集、校正作業を進めた。その結果、平成17年度に、その成果を『田藩文庫目録と研究』（国文学研究資料館編、青裳堂書店発行）として、目録本文と三本の研究論文等を収めて出版したことによって目的を達成した。

3の「プルヴェラー蔵日本絵本コレクションのデータ整理」については、プルヴェラー・コレクションについての、従前の国文学研究資料館文献資料部や科研による書誌調査を踏まえ、その書誌情報の整理を進めた。書誌情報はデジタル化し、平成21年度までにほぼその作業を完了した。

なお、本研究は、平成17年度に、「田安德川家蔵古典籍書誌目録の作成」が達成されたことで、一区切りを迎えることになった。そのため平成18年度から、プルヴェラー・コレクション、国文学研究資料館蔵本その他の絵本書誌情報に基づく、日本絵本研究のより本格的な展開を図ることになった。併せて、研究態勢を立て直し、国内外に広く連携協力を求め、若手研究者の参加を得ながら、学際的、国際的な規模での絵本研究を実施することとした。

## [全体の研究成果]

- ・この欄に、全ての出版物を並べて記入しないようにして下さい。出版物の一部分を記入することは構いませんが、成果物の一覧は、[成果出版物・論文等]の欄に記入して下さい。
- ・半頁以上、1頁以内で記入して下さい。

### 1、田安德川家寄託本目録の作成

田安德川家寄託本の目録を作成し、その蔵書形成についての研究を遂行した。その成果は、『田藩文庫目録と研究』（平成18年、青裳堂書店）に集約されている。目録は、各資料について分類を施し、奥書、識語などの書誌記述に留意して作成した。研究論文の執筆者は、田安德川家の一員として、本寄託本の整理、分析に携わって来た東京大学史料編纂所の松方冬子氏、早くに田安德川家本の一部の寄託を受けている慶応大学斯道文庫の佐々木孝浩氏、及び鈴木である。目録のデジタル情報は、今後ひろく研究利用に供するために、国文学研究資料館事業課に提供している。

### 2、絵本の書誌データの整理

ドイツ国ケルンのゲルハルト・プルヴェラー・コレクション（現、米国スミソニアン協会フリーア美術館蔵）の日本絵本約一千点について、これまで国文学研究資料館文献資料部や科学研究費補助金で進めてきた調査に基づき、書誌情報の整理を進めた。ただし、現在のところ、著作権、所蔵権などの権利関係による障害もあり、公開には至っていない。今後、フリーア美術館を含めて交渉を重ね、書誌情報の利用について活路を探りたい。

### 3、絵本研究の展開

国内外の近世美術研究者、文学研究者による共同研究会の開催に努め、その一環として二〇〇七年六月に国際浮世絵学会と共同主催で共同研究会（国際浮世絵学会例会）を開催した。また、研究会の成果を踏まえつつ、二〇〇八年六月に国際シンポジウム「江戸の絵本・画譜」を開催した。さらに、二〇一〇年一月に絵本展示会「江戸の歌仙絵」を開催し、合わせて図録を作成した。また、同年三月に論文集『江戸の絵本―画像とテキストの綾なせる世界―』（八木書店）を刊行した。論文執筆者は、米国ロジャー・キーズをはじめとする海外の研究者6名と、国内の美術、文学の研究者12名である。

## 【成果出版物・論文等】

- ・年次順に分けずに、【出版物】、【論文】、【その他（学会発表）（公開データベース）等】の区分で記入して下さい。記入内容は、出版物の場合は、書名（平成□□年□月、□□書房、全□□□頁）、内容（執筆者名、論文名）とし、論文の場合は、執筆者名、論文名、掲載誌名、巻号、最初と最後の頁、発表年月、査読の有無を原則とします。
- ・論文名は「 」に、書名・雑誌名は『 』に入れるのを原則とします。
- ・論文名や学会発表、データベース名は、一件ごとに「・」や①②③…を使って区別しやすいように記入して下さい。
- ・データベースは公開されているもののみ記載して下さい。

## 【出版物】

- 1、『田藩文庫目録と研究』（2006年、青裳堂書店、511頁）  
田藩文庫目録（索引付）、『御書物目録』、『徳川田安家御旧蔵入札目録』（影印）と論文3編から成る。  
論文 鈴木淳「田藩文庫考」pp421-469、「田安德川家蔵書の伝来について」松方冬子 pp471-488、慶應義塾大学図書館寄託田安家蔵書について」佐々木孝浩 pp489-509。
- 2、展示図録『江戸の歌仙絵—絵本にみる王朝美の変容と創意—』（2009年、国文学研究資料館、147頁）  
図版解説執筆者 伊藤善隆、岩切友里子、岡本聡、神楽岡幼子、神作研一、小林ふみ子、佐藤悟、鈴木淳、寺島恒世、深谷大。  
図録所収論文 鈴木淳「光悦三十六歌仙考」pp104-123、伊藤善隆「俳人肖像画集の展開—歌仙絵の変奏—」pp124-130、神作研一「江戸の王朝美—歌仙絵入刊本の展開—」pp131-145。
- 3、『江戸の絵本—画像とテキストの綾なせる世界—』（2010年、八木書店、504頁）  
所収論文 ロジャー・キーズ「絵本 その特質と普遍性」pp3-17、浅野秀剛「近世絵本の誕生をめぐって—現存例と用例を中心に—」pp21-38、佐藤悟「奥村政信絵本に見る画題の変遷」pp39-68、岩切友里子「絵馬図譜と武者絵本—元禄末から宝暦期の上方武者絵本の画題と図像—」pp69-105  
倉員正江「江島其碩作西川祐信画『女中風俗玉鏡』の初版と覆刻版をめぐって」pp109-136、山本ゆかり「月岡雪鼎と絵本—祐信模倣から画風の確立まで—」pp137-175、神楽岡幼子「江戸期上方絵本の流布と展開—長谷川光信の絵本を中心に—」pp176-195  
ジュリー・ネルソン・デイヴィス「『青楼美人合姿鏡』における浮世絵の出版及び吉原のネットワーク」pp199-210、鈴木淳「『絵本物見岡』私考—江戸名所風俗絵本の成立—」pp211-243、日野原健司「葛飾北斎の絵手本にみる「略画」—北斎の絵画教育者としての一側面—」pp244-261、マティ・フォラー「葛飾北斎と初期門人たち—享和・文化・文政期に焦点を絞って—」pp262-320、張小綱「白楽天来日の伝説とその変容—『白楽天』を中心に—」pp321-335  
エリス・ティニオス「円山四条派画譜の目的」pp339-354、伊藤紫織「『賞春芳帖』と岩垣龍溪主催松羅館詩社」pp355-378、岩佐伸一「上田公長『公長画譜』について」pp379-411  
齊藤千恵「赤本『〔花ういらう〕』について—市川宗家の「外郎売」との関連を中心に—」pp415-438、檜山裕子「草双紙の絵—異本『〔周防内侍〕』図版・翻刻—」pp439-469、アンジェラ・ドラガン「山東京伝『御存商売物』における言葉とイメージ」pp470-482、鈴木淳（付説）「江戸絵本研究のための二十五項」pp485-499。

## 【論文】

「北尾重政画『花鳥写真図彙』考—浮世絵師による花鳥画絵本の試み—」、鈴木淳、『かがみ』39号、査読有、pp83-118

## [展示・シンポジウム]

(展示)

タイトル、会期（期間）、会場、入場者概数

(シンポジウム・講演会)

タイトル、期日、会場、参加人数概数、個別発表者名・講演者名、個別発表・講演タイトル

展示に付随した講演などは、頭に「\*」を付して展示の項に註記しても構いません。

(展示)

特別展示「江戸の歌仙絵—絵本にみる王朝美の変容と創意—」

会期 平成 22 年 1 月 8 日（金）～2 月 5 日（金）

会場 国文学研究資料館展示室

入場者数 約 1,400 人

\* 展示資料 米国スミソニアン協会フリーア美術館・サックラー美術館図書館蔵『光悦三十六歌仙』など、80 点。

\* 講演 佐藤悟「『絵本小倉錦』の成立と源氏絵」  
鈴木淳「『光悦三十六歌仙』について」

(シンポジウム)

国際絵本シンポジウム「江戸の絵本・画譜」

期日 平成 20 年 6 月 28 日（土）、同 29 日（日）

会場 国文研大会議室

参加人数概数 80 名

[講演] ロジャー・キーズ「日本の絵本 普遍的な魅力、特質と世界美術におけるその位置付けについて」\* 司会・通訳 ロバート・キャンベル

[研究発表] 山本ゆかり「月岡雪鼎と絵本—西川祐信からの継承と離脱—」／倉員正江「江嶋其碩作・西川祐信画『女中風俗玉鏡』の初版と覆刻版をめぐって」／張小鋼「白楽天来日の伝説とその変容—鈴木春信の『見立白楽天』を中心に」

[パネルディスカッション] 「絵本・画譜 そのメカニズムを読み解く」

パネリスト 鈴木淳（司会）、浅野秀剛、岩切友里子、佐藤悟、クリストフ・マルケ

## 【研究会・資料調査】

年度毎に分けて日付順に研究会と資料調査を別々に記入して下さい。(研究打合せは記入しないこと。)

【平成〇〇年度】

(研究会)

期日、会場、発表者(報告者)とタイトル

(資料調査)

期日、調査先

### 【平成16年度】

(分類研究会)

12月27日、国文研、大高洋司「近世散文の分類を中心に」

2月15日、国文研、入口敦志「仮名草子の分類を中心に」

3月22日、国文研、井上泰至「近世軍書の分類」

(資料調査)

国立国会図書館その他で資料調査を実施した。

### 【平成17年度】

(分類研究会)

6月28日、国文研、井田太郎「和歌の分類」

9月5日、国文研、尾崎千佳「連歌俳諧の分類」

10月17日、国文研、高山節也「漢籍・準漢籍と漢籍目録」

12月16日、国文研、小曾戸洋「医学書の分類について」

(資料調査)

国立国会図書館その他で資料調査を実施した。

### 【平成18年度】

(絵本研究会)

8月16日、国文研、佐藤悟「『武道色八景』と浅草霊験記一付、『新撰大団扇』について」／浅野秀剛「歌麿の狂歌絵本と後修本」／ロバート・キャンベル「近世後期の画譜と詩文」。

12月22日、国文研、岩切友里子「絵馬図譜と武者絵本」／井田太郎「一蝶のイメージ」。

(資料調査)

国立国会図書館その他で資料調査を実施した。

### 【平成19年度】

(絵本研究会)

7月14日、国文研、檜山裕子「国文学研究資料館所蔵黒本『〔周防内侍〕』について」／日野原健司「絵本における略画的画風の変遷について」\*国際浮世絵学会と共同開催

10月12日、国文研、伊藤紫織「賞春芳(帖)について」／神楽岡幼子「長谷川光信の絵本について」

12月7日、江戸東京博物館、岩佐伸一「大坂四条派の絵師・上田公長の画譜について」／鈴木淳「天明期江戸名所絵本のイメージとテキスト」

### 【平成20年度】

(絵本研究会)

10月4日、国文研、斎藤千恵「赤本『花ういろう』について」／マティ・フォラー「絵入り狂歌本について」

12月20日、国文研、「絵本展示案について」

(資料調査)

大阪某家、三重県某家で歌仙絵関係絵本の調査を実施した。その他、国立国会図書館等で絵本の調査を実施した。

### 【平成21年度】

(絵本研究会)

6月27日、国文研、鈴木淳「展示構成原案について」

10月4日、国文研、展示本解説原稿の検討・討議

(資料調査)

千葉市美術館でラヴィッツ・コレクションの歌仙絵本の調査を実施した。その他、国立国会図書館等で歌仙絵本の調査を実施した。